

2020 年度 事業報告書

2020年3月にWHOが「パンデミック」の宣言を行なった新型コロナウイルス感染症は、翌月の4月には日本全国にも感染拡大し、政府による「緊急事態宣言」が発令されるに至った。これを受けて栄光会では同4月に「新型コロナウイルス感染防止対策本部」を立ち上げ、国や行政、全国老協や市老協などからの通知や情報等を基に栄光会の各施設や事業所の感染防止対策を講じるとともに、2020年度の事業計画も逐次見直しを加えながら慎重に事業運営をおこなった。

特養サービス部においては、新型コロナ感染防止対策として府や市の感染状況により看取り対応の方などを除き入居者家族等の面会中止や制限を行う一方、スマートフォンや法人のFacebook・SNS等を積極的に活用し家族等との情報交換・施設内での生活状況の発信に努めた。また行事に関しては外出行事や家族などの来苑者を施設内に招いての行事を自粛し、職員と入居者で実施できる小規模行事に見直しを行ったことで結果、より入居者一人ひとりに寄り添った形の行事を実施することができた。

在宅サービス部においても、区内や近隣のサービス提供事業所におけるコロナ感染情報の収集に努め情報の共有を図るとともに各事業所ごとにフェーズを設定し感染防止対策を徹底したことで一度も事業を休止することなく安定した事業運営を行うことができた。しかしながら特養サービス部・在宅サービス部ともに職員研修会の参加については、コロナ禍の影響を受け外部研修会への参加は減り、法人合同研修会についても参加人数を例年の半数程度に制限するなど縮小せざるを得ない状況となり、また2特養間で計画していた共同での研修会の開催も自粛を余儀なくされた。

本部管理部においては、年度初めの4月からコロナ禍の影響で不織布マスクを筆頭にアルコール消毒液やプラスチック手袋などが全国的に品薄状態となり同時に価格も高騰。特に上半期においてはこれら必要物品の確保に業務を圧迫される状況となった。

本年度4月から栄光会の全事業所で毎日10:00と14:00の2回、施設内の手摺りやドアノブなどの消毒と一斉換気、清掃等を行う「クリーンタイム」の実施によって全職員の新型コロナ感染防止に対する意識が一層高まったこと、加えて上記の各部における感染防止対策などの取り組み等により、2020年度において一人の新型コロナウイルス感染者を発生させることなく事業を運営することができた。

また2020年度は、栄光会の強みである「組織力と連携体制」を発揮し、本年度事業計画に掲げた様々な取り組みを行ない大きな成果を挙げることができた。職員待遇の向上と職場環境の改善に関して、2019年10月に創設・新規算定を始めた介護職員等特定処遇改善加算の支給を開始、11月には栄光会で10年以上勤務する19名の職員に対し永年勤続職員表彰式を開催した。東旺苑においては20年間の使用で耐用年数を迎えていた特殊浴槽を中央競馬馬主社会福祉財団様の助成を得て12月に入れ替え工事を完了。7月にはウインドウズ7のサポート終了によるウインドウズ10への対応のため法人内の大部分の業務用パソコンの入れ替えを実施した。また公私に渡りコロナ感染防止に努める職員に対して法人独自で福利厚生や慰労を目的に不織布マスクや慰労金の支給を行った。その他、新型コロナウイルス感染防止対策関連の公的な助成金や補助金を積極的に活用し特養入居者の居室用陰圧機や共用場所の空気清浄機、サ高住の廊下へのエアコン設置など施設内の環境整備も更に前進させることができた。

事業実績に関して、本年度8月に開設以来初の全39室・満室を達成したサ高住の業績相乗効果などにより在宅サービス部の各事業所はいずれも前年度実績を上回り、特にきよみず苑短期入所は12月以降100%を超える稼働率を継続した。特養サービス部についても東旺苑短期入所の稼働率が前年度を下回ったものの空床利用により100%超の稼働率は本年度も維持できた。一方長期入所については東旺苑ときよみず苑の両特養とも前年度を上回る実績を上げ、特にきよみず苑特養は7カ月100%の充足率を達成した。

支出関係では最も大きなウェイトを占める人件費について、本年度から支給を開始した介護職員等特定処遇改善加算分の約1,000万円が新たに増加したが、本年度も取り組み重点課題であった人件費の適正化に関しては派遣から直接雇用へ4名の切り替えができたものの直接雇用職員の確保が進まず年間を通して派遣職員費支出は前年度より約800万円の増加となり、尚も次年度へ課題を残す結果となった。

栄光会・各部における目標の共有とコミュニケーション・報連相の徹底、各部間の協力連携体制の強化等による栄光会全体としての組織力の発揮により、2020年度も前年度に続き資金収支差額・約1,300万円の黒字を確保することができた。

1. 特養サービス部

本体施設である東旺苑とサテライト施設であるきよみず苑の関係強化や職員のスキルアップを図る為、積極的な人事異動を継続的に実施することはできたが、コロナ禍の影響を受け2事業所共同での研修や行事の実施については停滞してしまう形となった。

➤ 特別養護老人ホーム 東旺苑（従来型・広域型・本体特養）

2020年度は、前年度に引き続き、介護報酬加算の継続算定に努めるとともに、入所申込者を随時受け付け定期的な入所判定会議を行うことにより円滑な入・退所に努め、また発生した空床については、併設短期で利用するよう柔軟な対応を実施したが、長期に渡り入居していた利用者の高齢化や重度化が相次いで発生し、前年度比で新規入居数・退居数共に大きく上回り年間を通して慌ただしい1年となった。

看護部による嘱託医との連携強化及び異常の早期発見・対応を実施した結果、入院人数・入院日数共に昨年度比で減少する事ができたが、下半期に入院者が激増する傾向が見られた。

介護部において、介護技術や入居者様への接遇レベル向上などの課題は山積しているが、多職種との連携については意識的に取り組んだ。またコロナ禍で様々な事が制限される中、『できる事』を積極的に見出すように努め、長期間に渡る入居者様への面会制限に代わる家族様への入居者様の生活状況伝達方法についても、施設のSNSに加え『東旺苑日和』の毎月発行など新しい取り組みも積極的に実施した。

また、12月度に京都市による実地指導を受け、要改善項目については速やかに改善を行った。

1 入居の状況（2020年度）

	入居者数（人）			満床時 延人数（人）	延人数 （人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	10	40	50	1,500	1,478	98.5
5月	10	40	50	1,550	1,543	99.5
6月	10	40	50	1,500	1,484	98.9
7月	10	40	50	1,550	1,532	98.8
8月	10	40	50	1,550	1,545	99.7
9月	10	41	51	1,500	1,497	99.8
10月	11	41	52	1,550	1,515	97.7
11月	11	42	53	1,500	1,431	95.4
12月	11	41	52	1,550	1,509	97.4
1月	10	41	51	1,550	1,487	95.9
2月	11	40	51	1,400	1,303	93.1
3月	10	40	50	1,550	1,498	96.6
合計	10	486	610	18,250	17,822	97.6
平均	10.33	40.5	50.83	—	—	—

参考 2019年度 年間合計充足率 **96.9%**

2 入院の状況（2020年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
人数（人）	2	1	3	2	1	1	
延人日（人日）	15	7	16	18	5	4	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	3	3	4	5	7	4	
延人日（人日）	26	25	16	61	81	49	323

参考 2019年度 入院者数延べ **38** 人、延べ日数は **538** 人日

3 入・退居の状況 (2020年度)

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
6	4	3	0	13	1	4	3	4	12

参考 2019年度の入・退居は各5件で、入院中退所は5件

4 入居者の介護度 (2020年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度3	11	9	9	9	9	9	10	12	12	11	11	10	19.5%
介護度4	9	8	8	8	8	9	10	11	12	11	12	13	19.5%
介護度5	30	33	33	33	33	33	32	30	28	29	28	27	60.9%
平均	4.38	4.48	4.48	4.48	4.48	4.47	4.42	4.34	4.31	4.35	4.33	4.34	4.41

参考 2019年度の介護度は1から0%・2.4%・24.3%・16.0%・57.3% 平均介護度は、**4.29**

5 入居者の年齢構成 (2020年度末現在)

	～64歳	65歳～	70歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	4	8	16	13	8	1	50
割合	0%	0%	8%	16%	32%	26%	16%	2%	100%

2020年度末の平均年齢は、88.3歳

参考 2019年度末の平均年齢は、87.4歳

6 入居者の入居期間 (2020年度末現在)

	1年未満	1年～	2年～	3年～	4年～	5年～	6年～	計
人数	12	5	6	4	8	5	4	
割合	24%	10%	12%	8%	16%	10%	8%	
	7年～	8年～	9年～	10年～	15年～	20年～	25年～	計
人数	1	1	1	2	0	0	1	
割合	2%	2%	2%	4%	0%	0%	2%	100%

7 保険者の状況 (2020年度末現在)

	山科区	伏見区	東山区	南区	北区	右京区	中京区	大津市	宇治市	計
人数	35	5	4	1	1	1	1	1	1	50
割合	70%	10%	8%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	100%

➤ 東旺苑 短期入所（ショートステイ）

2020 年度において、緊急的な短期や新規利用者等の受入を積極的に行い 16 名の新規利用者の受け入れを実施したが、継続利用に繋げることができたのは 3 名のみであった。また相次ぐ特養入退所に追われ、下半期に集中した特養利用者の入院時に発生した空床を十分に活用しきることができなかった。

1 利用の状況（2020 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数 （人）	延人数 （人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	2	8	10	120	155	129.2
5 月	2	8	10	124	127	102.4
6 月	2	8	10	120	112	93.3
7 月	4	8	12	124	130	104.8
8 月	3	9	12	124	109	87.9
9 月	4	10	14	120	136	113.3
10 月	3	7	10	124	105	98.4
11 月	4	7	11	120	113	109.2
12 月	3	9	12	124	139	112.1
1 月	3	7	10	124	125	100.8
2 月	5	6	11	112	128	114.3
3 月	5	5	10	124	132	106.5
合計	40	92	132	1,460	1,511	
平均	3.3	7.7	11.0		1,546	105.9

参考 2019 年度の新規利用者は 17 名、平均利用者数は 11.8 名、稼働率は 120.3%

2 介護度別の延利用者数（2020 年度）

（日）

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	0	46	56	53	0	155	3.1
5 月	0	36	21	58	12	127	3.3
6 月	0	46	13	39	14	112	3.2
7 月	0	36	41	42	11	130	3.2
8 月	3	36	35	27	8	109	3.0
9 月	26	26	44	40	0	136	2.8
10 月	0	24	42	39	0	105	3.2
11 月	0	17	64	32	0	113	3.0
12 月	0	14	51	41	33	139	3.6
1 月	0	7	66	33	19	125	3.3
2 月	21	14	46	30	17	128	3.2
3 月	0	38	44	50	0	132	2.9
合計	50	340	523	484	114	1,511	
平均	4.2	28.3	43.6	40.3	9.5	125.9	3.2

参考 2019 年度の平均介護度は 2.91

3 利用者の年齢構成（2020 年度利用者実績）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	0	0	0	2	3	12	5	2	24
割合	0%	0%	0%	8%	13%	50%	21%	8%	100%

○研修受講状況（2020年度）

施設内研修

4月	役付職員研修（2020年度事業計画等）	法人合同
6月	AED講習・食中毒勉強会①	施設内
7月	食中毒勉強会②	施設内
8月	製薬会社内服説明会	施設内
	接遇マナー研修（福祉職の接遇）	法人合同
9月	コンプライアンスと利用者の人権擁護	法人合同
10月	身体的拘束適正化について	法人合同
	救命講習	施設内
11月	京都市シェイクアウト訓練	施設内
12月	接遇マナー研修（現場での接遇）	法人合同
1月	事故発生防止について	施設内
2月	事故発生防止について	法人合同
3月	服薬介助研修	施設内
	京都市シェイクアウト訓練	
	自衛消防訓練（日中想定・夜間想定）	
	身体的拘束適正化について	

施設外研修

9月	社会人としての基本接遇研修
	福祉職のためのメンタルヘルスケア研修
10月	福祉職のためのマナー研修

○行事実施状況（2020年度）

5月	縁日レク
6月	おやつレク
7月	流しそうめん大会
8月	お盆法要
9月	敬老会
10月	花火大会
11月	永年勤続職員表彰式
12月	京都市実地指導、クリスマス会、もちつき大会
1月	炊き出しレク
3月	おやつレク

○介護課

- ①多職種との報告・連絡・相談の徹底
お互いの意見を擦り合わせながら徹底して行う事ができた。
- ②入居者が満足する事のできる環境の実現
コロナ禍という前例のない環境の中、様々な事が制限された状況であった事もあり、なかなか入居者が満足する事のできる環境の実現や業務の改善について十分な結果を得る事はできなかった。『できない』ではなく制限下においても『できる事』を積極的に取り組んでいく必要がある。

○支援課（ケアマネジメント）

- ①施設サービス計画書について
課題総括整理表を活用し適切に計画書を作成。また、課題が生じた際も速やかに計画書の見直しを実施した。新規入居や退院時に事前計画書を作成し、円滑な支援を実施できるように多職種での連携や栄養プランとの連動も行った。
また全ての計画書について、京都府介護支援専門員会が推進する京都市式ケアプラン点検ガイドラインに基づいて作成した。
- ②サービス計画進行管理表について
前年度に引き続き作成しプラン作成における不備防止に努めた。
- ③介護保険更新申請について
有効期間の満了に向け滞りなく実施し、また心身の状態変化等に伴う区分変更申請も適宜実施した。

○栄養管理課

- ①栄養マネジメント
新規入所者のカンファレンスにコロナ禍の影響もあり、家族様や本人の参加を積極的に実施する事ができなかった為、家族来苑時に現状を伝えるように努めた。また栄養リスク別にモニタリングを実施し、多職種連携を心掛け、高リスクの利用者については月2回の体重測定を実施し入居者の状態把握に努めた。
- ②給食について
毎月定期に委員会を開催し、残食の検証や食事提供に係る改善点を検討し共有するように努めた。また面前提供の機会を活用し、より良い食事環境の実現に取り組んだ。
- ③その他
- ④毎日ミールラウンドを実施し日々の利用者情報の把握に努めた。

○健康管理課

- ①嘱託医との連携に努める事で利用者の異常の早期発見・早期治療に取り組み、入院者数・入院日数共に前年度より減少したが、それぞれの利用者の高齢化・重症化に伴い退居者自体が前年度を大きく上回る結果となってしまった。
- ②インフルエンザに関して、コロナ禍における基本的な感染予防策が功を奏し、職員・入居者共に罹患はなく経過する事ができたが、依然として面会禁止は継続的に行っている。
- ③研修及び委員会を通して服薬マニュアル、感染症マニュアルの随時見直しを行った。

➤ 介護老人福祉施設 きよみず苑（ユニット型・地域密着型・サテライト特養）

2020年度において、新型コロナウイルス感染症の影響を多く受け、地域に開かれた栄光会を意識した行事や取り組みの実施、地域密着型事業所としての運営推進会議の開催などを軒並み計画通りに実施する事が困難となった。運営推進会議については、開催を中止するも資料を各委員へ送付する事で地域包括支援センターや地域自治体との関係強化も図ることに注力した。

嘱託医との連携や、各部署の連携に努めた事で、年間を通してほぼ入院者が発生していない状況が続き、非常に安定した年度となった。

9月度には、京都市の実地指導を受け、特に大きな問題点などなく順調に経過している。

1 入居の状況（2020年度）

	入居者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4月	3	26	29	870	870	100
5月	3	26	29	899	897	99.8
6月	3	26	29	870	837	96.2
7月	3	27	30	899	880	97.9
8月	3	26	29	899	899	100
9月	3	27	30	870	859	98.7
10月	3	27	30	899	875	99.4
11月	3	26	29	870	870	100
12月	3	26	29	899	899	100
1月	3	26	29	899	899	100
2月	3	26	29	812	812	100
3月	3	26	29	899	899	100
合計	36	314	351	10,585	10,515	
平均	3	26.3	29.3		876.3	99.3

参考 2019年度の平均充足率は**98.2%**

2 入院の状況（2020年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数（人）	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
延人日（人日）	0	2	30	12	0	0	0	0	0	0	0	0	44

参考 2019年度の入院者数は、延べ**14**人で、延べ日数は**160**人日

3 入・退居の状況（2020年度）

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
1	2	0	0	3	2	1	0	0	3

参考 2019年度の入退居は**5**件

4 入居者の介護度（2020年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	割合(%)
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度3	9	8	8	8	8	9	9	8	8	8	8	8	28.1
介護度4	12	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	40.4
介護度5	8	11	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	31.5
平均	3.97	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.04

参考 2019年度 平均介護度は**3.86**

5 入居者の年齢構成 (2020 年度末現在)

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	0	0	3	3	7	9	5	2	29
割合	0%	0%	10%	10%	24%	31%	17%	8%	100

2020 年度末の平均年齢は、89.7 歳

参考 2019 年度末の平均年齢は、90.7 歳

6 入居者の入居期間 (2020 年度末現在)

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	計
人数	4	4	4	6	1	8	2	29
割合	14%	14%	14%	20%	3%	28%	7%	100%

7 保険者の状況 (2020 年度末現在)

	山科区	東山区	左京区	伏見区	上京区	中京区	計
人数	20	5	1	1	1	1	29
割合	70%	18%	3%	3%	3%	3%	100%

○研修受講状況 (2020 年度)

施設内研修 (法人合同研修を除く)

6 月	食中毒勉強会	施設内
	緊急時対応①	
7 月	尿路感染症勉強会	施設内
8 月	身体的拘束適正化と虐待防止①	施設内
	緊急時対応③	
9 月	身体的拘束適正化と虐待防止②	施設内
10 月	インフルエンザについて	施設内
	救命講習	
11 月	ノロウイルスについて	施設内
12 月	危機管理予測	施設内
1 月	褥瘡について	施設内

施設外研修

9 月	社会人としての基本接遇研修
10 月	ハラスメント研修
	福祉職員のためのメンタルヘルスケア研修 福祉職員キャリアパス研修チームリーダー
11 月	福祉リーダーの極意
	福祉職員こころの教科書セミナー

○施設行事実施状況 (2020 年度)

4 月	誕生日レク (各ユニット)
5 月	誕生日レク (各ユニット)、五月人形飾り付け
6 月	誕生日レク (各ユニット)、父の日レク
7 月	誕生日レク (各ユニット)、七夕飾り付け
8 月	誕生日レク (各ユニット)、すいか割りレク
9 月	敬老レク (各ユニット)、京都市実地指導
10 月	誕生日レク (各ユニット)
11 月	誕生日レク (各ユニット)、永年勤続職員表彰式
12 月	クリスマス会 (各ユニット)
1 月	誕生日レク (各ユニット)
2 月	誕生日レク (各ユニット)
3 月	誕生日レク (各ユニット)

○支援課

毎月定例で入居選考会議を実施し待機者の確保・把握に努め、入所前面接を計画的に行う事で円滑な入退居支援を行った。

○介護課

人材育成と職員定着を念頭に置き取り組んだ事で、ユニットにより多少の差異はあるものの、比較的安定したユニット稼働を実施する事ができた。また、下半期にはユニット編成の大きな変更を実施。兄弟ユニットを1つのフロアと意識する事で、より良いサービスの実施・ケアの提供に努めた。しかし、コロナ禍の影響を受け、外部研修の実施を計画通り行うことが難しい状況であった。

○栄養管理課

①栄養ケアマネジメント

定期の体重測定・血液検査を基に各入居者の栄養状態・身体状態の把握に努め、ケアマネジャーと連携し本人や家族様の意向を含めた栄養ケア計画の作成を行った。またリスク度に関わらず、全ての入居者様に対して毎月モニタリングを実施した。

②食事の提供について

コロナ禍の影響を受け、生きる意欲や喜びに繋がる食事として計画していた大きなイベントなどが開催する事が難しい年度となったが、ユニット単位における、入居者様に寄り添った形での小規模なレクリエーションの実施に努め、結果として計画とは異なる形となったが積極的な取り組みを実施する事ができた。

③情報の共有・提供

栄養課として毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、改善点や提供方法等について検討・情報共有を行った。また4月度において年次で行っている嗜好調査を実施し、SNSや運営推進会議を活用し情報発信も努めた。

○健康管理課

嘱託医・他職種と連携を図り、入居者の身体状況の把握及び健康管理を行う事で異常の早期発見をし、入院人数・入院日数共に昨年度より大きく減少させる事ができ、重症化の防止に努める事ができた。また、感染症対策が強く求められた一年であり、医療職として職員の知識向上を図り、緊急時の対応・感染予防・事故防止に繋げる事ができた。

2. 在宅サービス部

ショートステイは職員の入れ替わりもあったが結果として下半期からリピータ獲得が大きな転機となり、最高稼働率 109%を達成。外部居宅支援事業所から可能な限りご利用者様を受け入れてくれる施設として信頼感も獲得できた。今後は現場と相談員が密に連携しスムーズな入退所やソフト面での充実に力を注ぐ。

デイサービスセンターは近隣施設が次々とコロナ感染情報が流れてくる中、感染予防対策の徹底とご利用者様満足度の両立をさせながら 1 日も事業休業することもなく運営ができた。また、年間平均利用者数 22.2 名を達成することができた。次年度は更に目標数値を上げ、職員一丸となって達成をめざす。

ヘルパーステーションはサ高住入居者の介護負担上昇に伴い、派遣数 500 件を超える月もあり順調に業績を上げた。また、職員の職場定着率も高く安定した人材確保が維持できている。次年度は職員の業務負担軽減からインカムを導入。現場情報伝達のスピード化を図り、ご利用者様への素早い対応を実現する。

ケアプランセンターは新しい管理者になり業務方針の転換を図り、過去最大の 67 件まで給付管理数が伸びた。次年度は新入職員の育成と主任ケアマネ取得に向けて大変な局面を迎えるが、ご利用者様に寄り添うケアプランセンターを目指す。

サービス付き高齢者向け住宅は過去からは想像できなかった 39 室全戸満室が 1 年間で 6 ヶ月達成。次年度からは入居待機者を確保し、空室期間の最短調整という新たな目標に向けて動き出す。

以上から、在宅サービス部は今季、各関係部署が一丸となり事業運営に貢献できた。今後も報告・連絡・相談の徹底と特養サービス部、本部管理部との一体性を構築しながら安定した収入確保を実施する。

➤ 短期入所施設 きよみず苑（ショートステイ）

2020 年度は長年勤務していた支援職員の退職を迎え、新たな職員体制で開始された中、介護職員の職場への定着率の向上を視野にいたした人材育成に力を入れ安定したケアの提供に努めた。

利用受け入れについては上半期、30 名の新規受け入れを実施すると共に、継続的な利用への繋がりを意識。結果として下半期は新規受け入れを 8 名のみしか実施ができない程、満床状態が日常的となった。新規利用より継続利用が増えた事により、ご利用者様の ADL の状態把握が確立でき、結果として業務負担軽減に繋がり、冬季には稼働率 100%を達成する事ができた。

また 2020 年度は常にコロナ感染症の危険と隣合わせの状態での事業運営となったが、感染防止対策を徹底した結果、コロナ感染者を発生させずに事業を継続することができた。

1 利用の状況（2020 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	11	21	32	300	237	79.0
5 月	8	19	27	310	250	80.6
6 月	11	20	31	300	246	82.0
7 月	16	25	41	310	296	95.5
8 月	6	27	33	310	282	91.0
9 月	13	23	36	300	256	85.3
10 月	16	18	34	310	272	87.7
11 月	15	18	33	300	299	99.7
12 月	13	12	25	310	313	101.0
1 月	11	11	22	310	320	103.2
2 月	11	19	30	280	303	108.2
3 月	8	11	19	310	338	109.0
合計	139	224	363	3,650	3,412	
平均	11.6	18.7	30.3		284.3	93.5

2020 年度 新規利用者 38 名
 参考 2019 年度 新規利用者 49 名 平均稼働率 85.6%

2 介護度別の延利用者数（2020年度）

	要支援	要支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	平均介護度
4月	0	0	13	40	134	31	19	237	3.1
5月	0	0	14	46	138	40	12	250	2.9
6月	0	0	10	69	116	32	19	246	3.0
7月	0	0	14	56	163	47	16	296	2.9
8月	0	0	11	45	128	34	64	282	2.9
9月	0	0	10	31	116	24	75	256	3.3
10月	0	0	3	47	123	45	54	272	3.3
11月	0	0	7	50	129	50	63	299	3.2
12月	0	0	3	40	162	52	56	313	3.0
1月	0	0	3	34	170	49	64	320	3.1
2月	0	0	3	43	127	52	78	303	3.3
3月	0	0	3	46	134	83	72	338	3.1
合計	0	0	94	547	1,640	539	592	3,412	
平均	0	0	7.8	45.6	136.7	44.9	49.3	284.3	3.1

参考 2019年度 平均介護度 2.8

3 利用者の年齢構成（2020年度利用者実績）

	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	計
人数	2	5	14	24	41	58	60	35	239
割合	7%	2.1%	5.9%	10.1%	17.2%	24.3%	25.1%	14.6%	100%

➤ デイサービスセンター きよみず苑

2020年度は、平均利用者数が5月より22名を超える日が続き安定した運営を実施できたが課題である冬季の数値が伸び悩み、結果、1日平均利用者数としては前年度と比較して伸び幅が少なかった。しかし、職員体制は派遣職員から直接雇用の転換が順調に進み、人件費適正化に繋ぐことができた。

新型コロナウイルスが山科区内で猛威を振るい、外部からの受け入れで非常に神経を擦り減らす場面が多かったが、感染防止対策の徹底により、デイサービスセンターきよみず苑からコロナ感染者を発生させることなく年度を乗り切った。

1 利用の状況 (2020年度) ()内はサ高住入居者

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1日平均利用者数(人)
4月	26	69(18)	568(181)	21.8(7.0)
5月	26	69(19)	594(190)	22.8(7.3)
6月	26	71(19)	588(191)	22.6(7.3)
7月	27	72(19)	622(199)	23.0(7.4)
8月	26	73(19)	596(179)	22.9(6.9)
9月	26	70(18)	582(174)	22.4(6.7)
10月	27	70(18)	612(172)	22.7(6.4)
11月	25	72(20)	566(182)	22.6(7.3)
12月	25	67(20)	551(198)	22.0(7.9)
1月	24	68(20)	521(180)	21.7(7.5)
2月	24	65(19)	508(165)	21.2(6.8)
3月	27	66(20)	578(200)	21.4(10)
合計	309	832(229)	6886(2211)	22.2(7.3)

参考 2019年度の延利用者数は**6746(1729)**、1日平均利用者数は**21.8(5.6)**

2 介護度別の延利用者数 (2020年度) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護1	72	77	80	76	64	63	71	53	57	64	60	55	66
介護2	128	133	142	149	143	157	166	166	149	141	130	165	147.4
介護3	220	238	223	236	247	191	200	182	181	183	183	208	207.6
介護4	53	55	45	51	44	46	59	52	64	44	41	41	49.5
介護5	30	32	29	38	31	38	37	33	28	29	30	38	32.7
計	503	535	519	550	529	495	533	486	479	461	444	507	503.4
支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0.25
支援2	65	59	69	72	67	70	79	67	60	57	60	63	65.6
申請中	0	0	0	0	0	17	0	13	12	0	4	8	4.5
計	65	59	69	72	67	87	79	80	72	60	64	71	70.4
合計	568	594	588	622	596	582	612	566	551	521	508	578	573.8
平均介護度	2.49	2.51	2.42	2.48	2.49	2.45	2.45	2.44	2.47	2.45	2.46	2.49	
稼働率(%)	87.4	91.4	90.5	92.1	91.7	86.5	90.6	90.5	88.2	86.8	84.6	85.6	88.8

参考 2019年度の平均稼働率は、**87.4%**

3 研修受講状況（2020年度）

4月	役付職員研修
5月	
6月	食中毒について
7月	尿路感染症について
8月	接遇1回目
9月	コンプライアンス、認知症
10月	インフルエンザ、身体拘束
11月	ノロウイルス、事故再発防止
12月	接遇2回目
1月	プライバシー個人情報保護
2月	リスクマネジメント
3月	緊急時対応

➤ ヘルパーステーション きよみず苑

サービス付き高齢者向け住宅の入居者増加により、ヘルパーの訪問件数が月に500件を超える月も出てきた。年間を通して安定した訪問件数が維持でき、実績アップにつながった。入居者の中でもADLの低下、体調不良、認知症の進行等により、すぐにサービスが必要なケースが多くあり本人・家族・ケアマネジャー・デイサービスと相談・連携し、スムーズに訪問介護や介護保険外のサービスも提供することができた。

1 利用の状況（月別・利用件数）（2020年度）

	総合事業			要介護				総合計
	生活型	介護型	合計	身体介護	生活介護	身体生活	合計	
4月	9	13	22	264	143	20	427	449
5月	4	13	17	298	141	20	459	476
6月	4	13	17	274	141	18	433	450
7月	5	5	10	288	145	26	459	469
8月	3	4	7	322	134	23	479	486
9月	5	4	9	319	124	21	464	473
10月	2	5	7	321	135	23	479	486
11月	4	4	8	331	144	19	494	502
12月	4	4	8	353	140	20	513	521
1月	4	4	8	349	135	19	503	511
2月	4	4	8	301	140	19	460	468
3月	3	4	7	321	158	11	490	497
合計	51	77	128	3741	1341	234	5316	5444

参考 2019年度総合計数は3741件（今期1703件の増加）、身体介護は1957件（今期1784件の増加）

2 介護度別の実利用者数 (2020 年度)

() 内はサ高住以外の外部利用者

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	4	8	6	13	3	0	34 (1)
5月	0	3	8	6	13	3	0	33 (1)
6月	0	3	7	6	13	3	0	32 (1)
7月	0	2	8	6	13	3	0	32 (1)
8月	0	2	6	8	12	3	0	31 (1)
9月	0	2	6	7	11	3	0	29
10月	0	2	6	7	11	3	0	29
11月	0	2	6	9	12	3	0	32
12月	0	2	6	9	12	3	0	32
1月	0	2	6	9	12	3	0	32
2月	0	2	7	9	12	3	0	33 (1)
3月	0	2	7	9	12	3	0	33 (1)
合計	0	28	81	91	146	36	0	381(7)

参考 2019 年度の合計 (延べ利用者数) は 370 名

3 介護保険外の利用者数 (2020 年度)

(人)

	服薬管理	ラウンジ送迎	配膳下膳	通院	洗濯	自費(家事)	自費(身体)	合計
4月	13	4	9	3	7	2	1	39
5月	14	4	8	1	8	2	2	39
6月	15	4	8	1	8	2	2	40
7月	16	5	8	0	8	3	2	42
8月	16	5	8	0	8	2	2	41
9月	17	4	8	0	7	2	2	40
10月	17	4	9	0	7	2	2	41
11月	20	5	9	0	7	5	2	48
12月	20	4	8	0	7	8	2	49
1月	20	4	8	2	7	9	4	54
2月	18	4	9	0	7	8	2	48
3月	19	3	9	1	7	9	3	51
合計	205	50	101	8	103	54	26	532

参考 2019 年度の合計 (延べ利用者数) は 276 名

➤ ケアプランセンター きよみず苑

2020年度は新しい管理者に引き継がれ、書類関係の修正や慣れない中での実地指導など大変な時期があったが、根本的な業務姿勢の変更指導により、下半期から60件超えの給付管理数が実現できた。また、サービス付き高齢者向け住宅担当入居者の高齢化に伴う身体的変化にも対応しながら安心して住み続けられる住宅として多職種との情報共有の軸として支援活動を実施した。

1 介護度別の給付管理数 (2020年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	12	11	10	13	12	14	17	16	16	15	13	13	149
介護2	13	15	17	17	18	18	19	23	22	25	24	24	235
介護3	24	24	23	20	20	19	19	20	20	22	20	20	251
介護4	4	5	4	4	3	3	4	4	4	4	4	6	49
介護5	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
計	54	56	55	55	55	55	60	64	63	67	62	64	710
平均介護度	2.43	2.46	2.44	2.33	2.36	2.25	2.22	2.23	2.24	2.27	2.29	2.34	2.29

2020年度の給付管理数合計のうち、サ高住数は341件

参考 2019年度の給付管理数合計586件(うちサ高住数281件) 平均介護度2.48

2 介護予防受託数 (2020年度) (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
要支援2	4	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	33
計	5	4	4	3	3	3	3	4	4	4	4	3	44

参考 2019年度受託合計58件

3 研修受講状況 (2020年度)

4月	法人合同研修(役付職員研修)、山科区介護支援専門員連絡会
6月	感染・褥瘡予防委員会勉強会(食中毒)
7月	高齢者虐待研修、感染・褥瘡予防委員会勉強会(尿路感染)
8月	法人合同研修(福祉職の接遇マナー)
9月	法人合同研修(コンプライアンスと利用者の人権擁護)、認知症ケア研修
10月	法人合同研修(身体的拘束適正化)
11月	感染・褥瘡予防委員会研修(ノロウイルスに)
12月	法人合同研修(現場での接遇)
1月	感染・褥瘡予防委員会研修(褥瘡)
2月	法人合同研修(介護事故防止)

➤ サービス付き高齢者向け住宅 きよみず苑・京都東

2020年度は39室全戸満室を目標に職員一丸となり進めていった結果、8月に目標達成。その後も入退居はあったが年間で6ヶ月満室を維持できた。今後は入居者の高齢化や認知症対応等、他部署との連携が更に重要となり長く住み続けられる環境提供や入居希望待機者を意識した事業運営を行い入居室数の維持に努める。

1 入居の状況（月末の契約数）（2020年度）

	入居室数 (月末)	新規 入居室数	退居 室数	入居者数(人)		
				男性	女性	合計
4月	38	0	0	12	29	41
5月	38	0	0	12	29	41
6月	38	0	0	12	29	41
7月	38	0	0	12	29	41
8月	39	2	1	12	31	43
9月	38	0	1	10	31	41
10月	39	1	0	11	32	43
11月	39	0	0	11	32	43
12月	39	0	0	11	32	43
1月	39	0	0	11	32	43
2月	38	0	1	11	31	42
3月	39	1	0	11	32	43

2020年度 平均入居者数 **42.1**名、新規入居室数 **4**、退居室数 **3**
 参考 2019年度 平均入居者数 **36.3**名、新規入居室数 **15**、退居室数 **7**

2 入居者の年齢構成（2020年度末現在）

年齢	～64歳	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳～	計
人数	0	0	1	5	3	11	21	2	0	43
割合(%)	0	0	2.3	11.6	7	25.6	48.8	4.7	0	100

2020年度末の平均年齢は、**88.3**歳
 参考 2019年度末の平均年齢は、**87.0**歳

3 入居者の介護度（平均介護度は認定者のみで算出、要支援1を0.5 同2を0.8で換算） (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合(%)
自立	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	4.8
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	4.8
要支援2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	38	7.5
要介護1	10	10	10	9	8	8	8	6	6	6	6	6	93	18.4
要介護2	7	8	8	9	12	12	14	14	14	14	14	15	141	27.9
要介護3	12	12	12	12	13	12	12	14	14	14	13	12	152	30
要介護4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	28	5.6
要介護5	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1
合計	41	41	41	41	43	41	43	43	43	43	42	43	505	100
平均介護度	2.08	2.11	2.11	2.13	2.13	2.03	2.03	2.13	2.13	2.13	2.11	2.05	2.10	

参考：2019年度平均介護度は、**2.02**

4 行事・レクリエーション 実施状況（2020年度）

第1木曜日	たちばな健康体操
第2月曜日	マツヤスーパー買い物
第4木曜日	映画鑑賞会（ラウンジ）
毎月1回	管理栄養士による特別喫茶

3. 本部管理部

本部管理部（法人本部）は、「施設管理課」「栄養管理課」「健康管理課」の3管理課で構成されており、一人一人が東旺苑、きよみず苑の両施設を行き来する事により足りない人員を補い、他のサービス提供部門である特養サービス部、在宅サービス部のサポートを行ってきた。
また、特養サービス部、在宅サービス部と緊密な連携を図り、情報を共有し、栄光会が一体として事業運営ができるよう円滑且つ効率よく進めて行ける部署として本年度も取り組んだ。

➤ 施設管理課

人事・経理・保安・営繕において、栄光会全ての部署に関連する課として、施設のハード面から人材確保育成などのソフト面に至るまで各部門の運営が円滑に進むよう努めた。

○施設維持管理、保安

- 1 設備維持管理業務については、東旺苑の建物及び設備において、屋上防水、外壁塗装など多額の費用がかかる修繕工事については長期計画を立て資金繰りを考えながら検討している。又、開苑7年を迎えたきよみず苑については、車両や建物内部の備品等の各種リースの更新が始まっており、再リース又は相見積もりを取り入替により以前より契約金額を抑える等、個々に精査して更新又は契約変更に取り組み経費削減をすることができた。
- 2 東旺苑については、経年劣化によりその都度補修が発生するため、日々の巡回により状況を把握し迅速な対応を心がけ、運営への支障が最低限にとどまるよう努めているが、法定で定められている検査で不備を指摘され、その改修又は修繕に多額の費用がかかった。
きよみず苑については、こまめにメンテナンスをする事により設備及び器具備品を長く使用出来るように取り組んでいる。
空調機フィルター清掃作業は年2回業者によって行い、また雑草処理や高所作業などは職員によって行っている。
- 3 防災防火管理においては、各施設の防火管理者のもと別々で訓練を行い非常時に備えているが、緊急時において施設間で相互に助け合える体制作りのため、防火管理者間で防災体制などの情報の共有を行った。

* 自主防災訓練の実施状況（2020年度）

実施月	訓練内容	実施施設
4月	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東(デイのみ)
11月	京都市シェイクアウト訓練	全施設
	自衛消防訓練(日中想定)	きよみず苑・京都東(全事業所)
3月	京都市シェイクアウト訓練	全施設
	自衛消防訓練(夜間想定)	きよみず苑・京都東
	自衛消防訓練(日中想定)	特別養護老人ホーム東旺苑
	自衛消防訓練(夜間想定)	
	土砂災害に係る避難訓練(日中想定)	

○人事労務関係

本年度は、事業計画に基づき職員に対する「ストレスチェック」を実施。サポート対象者人数16名の結果であった。また同結果は直接個人への通知のため対象者の氏名は不明であるが、サポート体制への相談等の希望者は0名であった。

○人材確保と職員育成

- 1 本年度の職員採用実績は合計18名。内訳は、ハローワーク3名、法人ホームページ4名、職員紹介3名、ネット紹介サイト2名、派遣から直接雇用への切り替え4名、求人広告1名、行政による就労困難者紹介1名で前年に対して2名増の結果であった。一方、退職者は14名で前年度と同人数。2年前に比べて退職者数はほぼ半減しているが、採用者と退職者が同一人物のケースが複数あり、派遣職員でカバーする比率が高まり結果として人件費の圧迫となった。その中でも法人ホームページからの応募者数が増加しており、引き続きこまめな更新で採用実績UPを目指して行く。また、派遣職員からの直接雇用職員への切り替えについて、キャリアアップ助成金受給対象の正規職員切り替えだけでなく、派遣から非正規直接雇用への転換でも経費削減を図り、前述の派遣4名は手数料を抑えて非正規直接雇用とした。

- 2 キャリアアップ助成金に関して本年度は 2 名分の受給ができた。2021 年度は制度更新を行い引き続き同助成金の活用を図る。
- 3 新卒など各種採用に関するフェアの開催が、新型コロナウイルス感染拡大により軒並み中止、インターシップについても感染防止が最優先で受け入れがほぼできず、十分な活動が行えない状況であった。
- 4 外国人雇用については、様々な事業所から声がかかるも、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、挨拶と情報収集に留まった。
- 5 法人合同研修は、プロの外部講師を招いての演習講義を実施するため、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で参加人数を制限し開催した。

*法人合同研修の開催状況（2020 年度）

開催月	研修名	講師	参加人数
4 月	役付職員研修（2020 年度事業計画等）	統括施設長、各部部长他	21 名
8 月	接遇マナー（福祉職の接遇）	外部講師	24 名
9 月	コンプライアンスと利用者の人権擁護	外部講師	24 名
10 月	身体的拘束適正化（身体拘束禁止等）	外部講師	24 名
12 月	接遇マナー（現場での接遇）	外部講師	24 名
2 月	介護事故防止（事故防止活動について）	外部講師	20 名

○地域貢献

地元の地域自治会に特養とサ高住単位で加入を継続。毎年開催される地域自治会主催の定期的な催しへの参加や地域町内会の会議場所の無償提供のほか、栄光会各施設で開催しているイベントへの地域住民の招待、防災訓練への参加の呼びかけ、山科区における市老協地域貢献プロジェクト事業、百々小学校区かぎ預かり事業参画、配食サービス事業実施など、地域と連携し地域に貢献するために積極的な取り組みを行うよう準備してきた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で地域の催し等は大半が中止となり、感染防止対策から地域住民との交流なども出来ず、地域貢献はごく一部のみとなった。

○経費削減・補助金利用

- 1 2020 年度は、2020 年 1 月より新型コロナウイルス感染拡大により年度初めの 4 月からマスクが品薄となり更に価格も感染拡大前の 10 倍位に高騰し、入荷がいつか分からない状態にもなった。またマスクの他にもアルコールの消毒液、プラスチック手袋と価格自体もどれも以前の 5 倍以上となり、尚且つ注文時に数量制限、入荷はいつか分からない状態で、安価な新しい購入先を探しては購入し経費削減より物品確保が第一優先で物品の確保に当たった。
経費に関しては、新型コロナウイルスによって価格が上がったものについては、前年度に比べて増加した。
- 2 年々上昇する人件費については、直接雇用の職員に関して新たに設けられた特定処遇改善費の支払いが 6 月、9 月、12 月 3 月と処遇改善費と同様 3 カ月に 1 度の支給であり、その金額が約 1,000 万円増加した。
また、派遣職員費の増加については、直接雇用職員の確保がなかなか進捗せず、派遣職員に頼らざるを得ない状態から脱することができなかつたためである。
- 3 東旺苑においては、2020 年 12 月に、平成 12 年に設置し既に耐用年数を迎えていた特殊浴槽を中央競馬馬主社会福祉財団様の助成を受けて新しい特殊浴槽に入替えを行った。助成金は本体価格の約 7 割の 313 万円で、本体残金 138 万円と附属品のストレッチャー購入は自費で整備した。
きよみず苑においては、新型コロナ対策の一環として 2021 年 2 月に 3F と 4F の共用廊下にエアコンを各階 2 台取付けを行い、これによってきよみず苑は全館冷暖房完備となった。整備資金は、新型コロナウイルス感染症包括支援事業助成金 150 万円と自己資金 80 万円である。
本年度は、新型コロナウイルス関連の助成金が法人全体で約 1,080 万円あり、助成目的に沿って有効かつ必要な物品等を整備した。

➤ 栄養管理課

栄養管理課としては、東旺苑、きよみず苑両施設共に、各部と連携し計画実行のものについては検証し、現在のサービスを精査しながらより良い「食・栄養」の提供をご利用者様の「楽しみ」にする様に努めた。

○栄養管理課全般

- 1 きよみず苑・京都東について
総合施設であるため、細かいトラブルが多いが、栄養管理課として迅速な対応に努めた。また今年で4年目になる月に1回のサ高住特別喫茶企画では下半期途中までは管理栄養士2人とヘルパー職員と協力で行い、下半期残りの月は給食委託会社の職員の協力を得て、季節に応じた特別メニューを手作りで提供し入居者様の楽しみやコミュニケーションの増進に繋がった。サ高住で月一回の喫茶の継続を目標にし、毎月30名弱の参加者があり年々参加人数が増加し定着している。
- 2 嗜好調査や情報発信など
東旺苑、きよみず苑両施設及び配食のご利用者様の声を食事に反映できるよう、嗜好調査をサ高住、デイサービスは3月に実施、両特養は4月に実施予定。また情報公開のため、フェイスブックへの投稿、運営推進会議への資料提供、家族や外部への情報発信を可能な限り行った。
- 3 市老協の会議や研修は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催されなかった。
- 4 2021年1月より管理栄養士が一人体制となったが、他部署などの協力を得ながらサービスの質を継続できるよう努める。

○東旺苑・配食サービス事業

年度初めは1日平均13件程度の配食があったが、その後ご利用者様の入院や施設入所等で減少傾向が続き、新規のご利用者様も継続利用に繋がる方が少なく、最終的に前年度実績を下回る結果となった。次年度も積極的に新規の受け入れを行い、地域の独居高齢者の生活支援や安否確認など地域貢献に積極的に取り組む。

利用の状況 (2020年度)

	要介護 (500円)	同居 (670円)	自立 (750円)	合計
4月	404食	0	0	404食
5月	423食	0	0	423食
6月	380食	0	0	380食
7月	387食	0	0	387食
8月	375食	0	0	375食
9月	363食	0	0	363食
10月	385食	0	0	385食
11月	348食	0	0	348食
12月	361食	0	0	361食
1月	350食	0	0	350食
2月	329食	0	0	329食
3月	373食	0	0	373食
合計	4,478食	0	0	4,478食
1日平均	12.3食	0	0	12.3食

参考 2019年度は、合計5,021食、1日平均13.7食

➤ 健康管理課

2020年1月頃より新型コロナウイルスが世界的規模で感染拡大し、感染により重症化し亡くなる方が多数いる現在も新型コロナウイルスに対するワクチン接種がまだ出来ていない中、感染防止対策の強化、栄光会では独自で、2020年4月24日より毎日午前10時と午後2時にクリーンタイムの時間を設け環境整備をおこなってきた。また、施設の面会制限によりご家族様にもご心配をおかけし、ご利用者様にはご家族と会えないストレスを抱えられている事と思いそのケアにも努めた。

○ご利用者様が、日々安心安全に過ごす事が出来る環境の維持推進

東旺苑、きよみず苑共にご利用者様の健康管理に対して嘱託医による定期的診察を行い嘱託医と常に連絡を取り早急に対応するように努めることができた。

○運営面において

緊急時の東旺苑、きよみず苑の看護体制においては、どちらかの施設で看護職員の人員不足がある場合は応援を行い協力し業務遂行することができた。

○運営する施設の課題である、感染予防、ご利用者様に関する様々なリスクの低減を目標に、年間を通じて計画的に、健康管理課として連携して取り組んでいく

- 1 感染対策、栄養管理に対して栄養管理課と協力体制のもと健康維持に努めることができた。
- 2 感染対策委員会による感染対策、新型コロナウイルス感染拡大のもとで少人数での研修を数回にわたり開催することができた。
- 3 普通救命講習、AED講習などの実施については、新型コロナウイルス感染拡大中ではあるが、参加人数を減らし感染対策を行いながら実施することができた。
- 4 外部で実施される研修等については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

4. 法人事務局

法人事務局として本部管理部をサポートし、人材確保、官公庁への届け出業務等に取り組み、また、理事会評議員会に関する主要業務を滞りなく行うことができた。

○法人事務

- ①本年度に実施の監査について、きよみず苑、東旺苑と、新型コロナウイルス対策時での縮小された開催ではあったが、各部門と連携し無事に実施することができた。
- ②本部管理部をサポートしつつ、消耗品ほか経費削減に取り組み、また、必要機器の購入やリース対応についても経費削減を念頭に取り組んだ。

○法人事業広報活動

- ①サ高住の広報活動について、新型コロナウイルスによる各事業所への訪問は自粛となった。サ高住の入居者については、満室と良好な状況が続いているが、今後新型コロナウイルスの収束状況を見て訪問再開を目指す。
- ②ホームページや Facebook の運用について、本部管理部と連携、求人ページの更新で本年度はホームページからの採用が4名と増大した。

○理事会、評議員会、運営事務

本年度は、評議員選任解任委員の改選を執り行った。新型コロナウイルスの感染防止対策にて、5月以降の理事会等は場所を変え栄光会施設外で実施。さらに、3月の理事会については、京都府は新型コロナウイルスの緊急事態宣言期間につき、持回り稟議での理事会決裁となったが滞りなく開催できた。

***理事会・評議員会等の開催状況（2020年度）**

5月	評議員選任解任委員会	再任・改選	5月開催
	評議員	再任・改選	評議員選任解任委員会で検討し1名改選
	監事監査	2019年度 会計・業務監査	5月実施
	理事会	2019年度 決算報告・事業報告他	5月開催
6月	評議員会	2019年度 決算報告・事業報告他	6月開催
12月	理事会	2020年度 上半期収支報告・事業報告他	12月開催
3月	理事会	2021年度 予算・事業計画他	3月開催

○助成金活用事業

- ①各種団体への助成金の申請について、東旺苑の特殊浴槽について馬主協会の助成にて改修を実施。その他にリフト付き福祉車両確保に向け各種団体に申請するも、確保には至らなかった。
- ②厚生労働省のキャリアアップ助成金については派遣から正規職員に転換の2名分の助成金が受給できた。また、そのほかに新型インフルエンザや新型コロナウイルスの感染防止対策の陰圧機の京都府の補助金による導入、新型コロナウイルスの対策として政府による介護施設への補助金のフル活用で、様々な機器の導入や施設改修を執り行えた。